

調査期間 2013年10月1日～継続中
所在地 秦野市蓑毛
時代 近世、中世、奈良・平安、縄文
調査原因 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
遺跡位置 小田急小田原線秦野駅から北方約3kmに位置する。



主な調査成果

調査は工事用道路部分にあたるⅠ区（前年度から継続）・Ⅱ区の調査を実施し、さらにⅠ区南側をⅢ区として南部分（Ⅲ区南）を調査しました。Ⅲ区では、近世の畝状遺構、奈良・平安時代の円形土坑が発見され、耕作地であったことが判明しました。Ⅱ区では宝永火山灰（1707年降灰）で埋まった近世の溝が見つかり、その北側からは近世の2つの土坑墓群が発見されました。墓からは子供を含む多数の人骨が見つかりました。

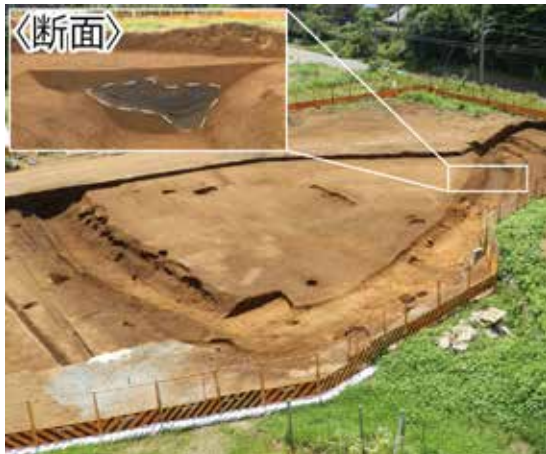
また、Ⅱ区・Ⅲ区南からは土石流痕跡と思われる溝が発見されました。写真は南北に延びるもので、写真手前側が広がっています。時期は明らかではありませんが、中世～近世以前のものと考えられます。これからⅢ区東・西と調査範囲を広げていく予定です。



土坑墓（成人）



土坑墓（子供）



近世溝状遺構

断面の黒い部分が宝永火山灰



土石流痕跡